

学校番号	3012
------	------

令和2年度 公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社）						
副教材等	改訂版 政治・経済ノート（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治経済に親しみをもつ。</li> <li>・各事象がなぜ起こったのか、どういう結果になったかをよく考える。</li> <li>・政治・経済の現状だけではなく、未来の日本及び世界について考える。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の学習を踏まえ、政治・経済の基礎的知識を習得する。</li> <li>・政治・経済の基礎的知識を踏まえ、自らの考えを作り、分析発表できる。</li> <li>・身に付けた考え・知識を使い、将来の平和的民主的社会を作る基礎的な力を身に付ける。</li> </ul>
---

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観点 の 趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価 方法	a→副教材ノート、ワークシート b→定期考査、副教材 c→ワークシート、レポート d→定期考査 主題学習とは、特定の主題を設定しておこなう学習活動で、適切な時間を確保して行う。			
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

#### 4 学習の活動

学 期	単元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価 方法
			a	b	c	d		
1学期	民主 政治 の基 本原 理と 日本 国憲 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治と法の機能</li> <li>・人権保障と法の支配</li> <li>・議会制民主主義と世界の政治体制</li> <li>・日本国憲法の基本原理</li> <li>・平和主義と自衛隊</li> <li>・基本的人権の保障と新しい人権</li> </ul>	○	○	○	○	a:現代社会の学習を踏まえ、人権・民主主義・平和主義などが民主的で平和な社会形成に不可欠のものであることに気がついている。 b:学習したことを基礎に、自分の言葉で主題について意見を述べ、自分とは違う意見についても理解することができている。 c:教科書等にある資料から、主題について読みとれている。 d:人権・民主主義・日本国憲法の基本原理について、基礎的な知識を理解し、身に付けている。	定期考査 ワークシート 副教材ノート
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会の組織と立法</li> <li>・内閣の機構と行政</li> <li>・裁判所の機能と司法制度</li> <li>・地方自治制度と住民の権利</li> <li>・政党政治と選挙制度</li> <li>・民主政治における世論の役割</li> </ul>	○	○	○	○	a:現代社会の学習を踏まえ、日本の基本的な政治制度について、新聞等身近なメディアから興味をもち、学習しようという態度が育成されている。 b:ワークシート等の作業を通じて制度の問題点と課題を自らの言葉で表現できている。 c:教科書等にある、制度説明の図、政党の変遷図等を見て自分の考えをまとめるのに役立てている。 d:各種制度、民主政治の基礎的な理念を理解し、身に付けている。	定期考査 ワークシート 副教材ノート
	現代 の国 際政 治と 日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会と国際法</li> <li>・国際連合の組織と役割</li> <li>・国際政治の動向</li> <li>・国際紛争と難民問題</li> <li>・軍備管理と軍縮</li> <li>・日本の外交と国際平和の役割</li> </ul>	○	○	○	○	a:現代社会の学習を踏まえ、基礎的な地理的、空間的理解をした上、各国間にある諸問題に取り組もうとする姿勢がある。 b:ワークシート等の作業を通じて各国相互に起こっている問題に対する自分の考えを表現できている。 c:新聞等の資料内容を教科書等の学習内容と関連させ、理解し、今後の学習内容と関連付けられている。 d:国際政治・国際機関等の基礎的な内容について理解し、その知識が身に付いている。	定期考査 ワークシート 副教材ノート

2学期	現代 経済 のし くみ と特 質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済社会の発展</li> <li>・経済主体と経済活動</li> <li>・市場経済の機能と限界</li> <li>・経済成長と景気変動</li> <li>・物価の動き</li> <li>・金融のしくみとはたらき</li> <li>・財政のしくみとはたらき</li> <li>・日本経済の歩み</li> <li>・農業の現状と課題</li> <li>・消費者問題</li> <li>・高度情報社会の進展と課題</li> <li>・労働問題</li> <li>・社会保障制度の充実</li> <li>・環境保全と資源・エネルギー問題</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:現代社会経済分野の学習を踏まえ、身近な経験の中から経済活動について興味・関心をもっている。</p> <p>b:経済活動の本質を理解し、それが人間社会にどう役立っているか、学習内容を踏まえ、理解し考えようとしている。</p> <p>c:さまざまな形の経済分析表、グラフ、各種経済指標を適切に理解し、それを自らの考えを発展させるために使用している。</p> <p>d:経済の本質、特に国内経済の基礎的な内容を理解し、知識として身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 副教材ノート
	国民 経済 と国 際経 済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済のしくみ</li> <li>・国際協調と国際経済機関の役割</li> <li>・地域的経済統合</li> <li>・グローバル化する経済</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:現代社会の国際経済分野の学習を踏まえメディア等を通じて、グローバル社会の中で各国の動向について関心がある。</p> <p>b:国際経済の問題点と課題について、学習内容を踏まえ、適切に考え、自らの言葉で表現しようとしている。</p> <p>c:国際経済に関するさまざまな指標を自らの考えを作るために理解し、活用しようとしている。</p> <p>d:国際経済の基本的な内容について、理解し、その知識が身に付いている。</p>	定期考査 ワークシート 副教材ノート

3学期	現代 日本の政 治や 経済 の諸 課題	・少子高齢社会と社 会保障 ・雇用と労働をめぐ る問題	○	○	○	○	a:現代日本の中に生じるさまざまな問題につ いて、これまでの学習を踏まえ、興味・関 心が育っている。 b:これまでの学習内容を総合化し、特定の課 題について、分析深化し、それを発表でき ている。 c:発表準備の中で、自ら集めたさまざまな資 料を理解し、まとめ、わかりやすいように 再構成できている。 d:1学期、2学期の学習内容を踏まえ、その 基礎的知識を理解し、身に付いている。	定期考査 ワークシート 副教材ノート 振り返りシート
	国際 社会 の政 治や 経済 の諸 課題	・人種・民族 問題と地域 紛争 ・国際社会に おける日本の 立場と役割	○	○	○		a:国際間に生じるさまざまな問題についてこ れまでの学習を踏まえ、興味、関心が育っ ている。 b:これまでの学習内容を総合化し、特定の 課題について、分析深化し、それを発表 できている。 c:発表準備の中で、自ら集めたさまざま な資料を理解し、まとめ、わかりやす いように再構成できている。	レポート ワークシート 振り返りシート

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:資料活用 of 技能 d:知識・理解 である。

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重  
点的に評価を行う観点(もしくは重男ト付けを行う観点) について○を付けている。